
宮本教授

夢野ユーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

宮本教授

【Nコード】

N0166P

【作者名】

夢野ユーマ

【あらすじ】

ある老作家の死と周囲の反応。

？訃報（前書き）

こんにちは。私は前書きなどをつけるのは嫌いなのですが、今回の話は短いのですが構成に少しアイデアがあるので、短い話の集合体になっています。そこをご理解下さい。

？訃報

作家・国文学者で、TVでも活躍した宮本氏政みやもと・せいまささんが17日午後5時58分、老衰のため死去した。90歳。

岐阜県大垣市郭町〇〇。告別式は大垣別院で行われる。後日、お別れの会も計画。葬儀委員長は日本国文学会の亀井彰会長。

東京帝国大学文学部国文科卒業。終戦後、在野の研究者として、和歌文学を研究。戦後の前衛短歌運動に影響を与え、文壇とも広く交流する。軽妙なエッセー「ちやうのとちやうか？」シリーズで人気となり、TVやラジオにも出演。特に70年代から80年代にかけてはクイズ番組にレギュラー出演した。平成に入ってから著述活動に再び力点を置く。現在の皇室の祖である北朝の文学の研究の重要性に最初に気づいた一人だった。「14世紀の光源氏」北朝の天皇たち」で角川源義賞。「私の戦後文学史」で菊池寛賞。「水都」で読売文学賞。「虚の愛」評伝・塚本邦雄」で大仏次郎賞。「詩歌と日本文学史」で毎日出版文化賞など多数受賞。芸術院会員。文化功労者。勲二等。

大垣藩主の血をひく教養人で、上品な物腰はお茶の間でも人気だった。

？読売新聞・夕刊

樺原りえ（歌人）

宮本先生が亡くなられた。そうづかがい、ショックを隠せない。

思えば三十年以上前に宮本先生が私の処女作「パラダイスロスト」をTVで紹介して下さい、私は時の人となったのだった。

正直なところ、私にとって宮本先生はTBSの「クイズダービー」に出ている好好爺のイメージが強く、後に三島由紀夫、寺山修司、中井英夫、塚本邦雄らと親交があったことを知り、私は冷や汗をかいた。

もともと先生は飄々とした方で、私の本がベストセラーになった後も恩着せがましくなることもなかった。パーティーが好きで、生命力が旺盛であった。

今、思うと先生のご専門の和歌文学のことをもっとうかがっておくべきだったが、先生のお人柄につられて、ミーハーな話ばかりしてしまった。でも案外、日本文学の本質ってそんなものなのかも知れない。

最後に親友の森下まあ子のマンガに出てくる「沼野のじいちゃん」は先生がモデルなんですって！ご冥福をお祈りいたします。

？ラジオ深夜便・我が心の人

大東三十郎（元・TVディレクター）

先生も逝かれるとはねえ。去年は森繁さん、今年は井上ひさしさんや三浦哲郎さんに続いて先生も・・・

先生は頭のやわらかい人でねえ、映画は終生好きでしたけど、TVにもご理解を示して下さいましてね、いろいろご協力下さいました。先生は公立の学校のお仕事はされていないでしょう。どこか反骨のところがあったのかも知れないね。

でも、普段はおっとりしたお殿様そのものでしたよ。芸能界なんかいると裏表のある、こすからい奴が多いけど、先生は明るくて、のんびりしててね。

可愛い男の子や美男子が好きなのも全然、隠してなかったしね。

これは笑い話として聞いて下さいよ。近藤真彦と田原俊彦を売り出す時、先生に写真を見せたら、トシちゃんをつつかえすの。「三十、四十になったら、見られたもんじゃない」って。どう思つかはあなただ次第ですよ。アハハ。S M A Pは評価しなくて、嵐は好きだっておっしゃってたな、アハハ。

ああ、先生の学問的なことはTVの仕事なんて893なことやって
いたから分かりませんが、とにかくおおらかでしたね。三島由紀
夫とか寺山修司はちよつと暗いでしょ。先生はおおらかで、開けっ
広げだったからね。人を押しのけないからね。育ちのよさですよ。
そこは。だから、色んな榮譽を受けたのは晩年でしたね。

ただ、昭和が終わった時ね、今から考えるとそんな年でもないんで
すけど、一線を退いて、城下町の大垣に帰られて。それからですよ。
執筆活動が本格的に評価されだしたのは。

情け深い人でね。在日の子なんかに親切だったけど、TVの韓流
ブームはいただけなかったらしい。映画は観てみたいですね。「
母なる証明」「チエイサー」「息もできない」「渴き」なんかご覧
になってましたよ。

「息もできない」はラストがもうちよつとコンパクトだったら、さ
らにいいっておっしゃってました。
死にそうになかったんだけどね・・・

これも笑い話ですが、「息もできない」の犯人は東方神起ですよっ
て教えて差し上げたら、「韓流もちよつと研究しないといけません
ね」とおっしゃってました。

あんなおおらかな人、これからは出ませんよ。アハハ。

？朝日新聞・夕刊

真野茂樹（東大教授・国文学）

宮本教授が亡くなられた。若い研究者は目を丸くするかも知れないが、宮本教授の存在は一時期、国文学界ではタブーであつた。

国公立の大学に属さず自由に研究・発言を続ける宮本教授をアカデミズムは長く黙殺してきた。しかし、大学紛争やニューアカデミズムの台頭で学問の世界が揺らぐと、自由な立場で独自の説を展開されてきた宮本教授は評価されてきた。地元東海地方の私大の特任教授も務めるようになった。（もっともタレント教授の先駆けという面も否めなかったが）

また北朝文学研究も、研究者や文学者に浸透してきた。これも若い研究者はびつくりするだろうが、「玉葉」「風雅」、伏見院、永福門院は宮本教授が紹介されるまで、今ほどメジャーではなかったのである。

宮本教授のような奔放な人材をしっかりと使いこなせなかったアカデミズムのあり方はもつと見直されないといけない。

私は東大の教官だが、宮本教授はこだわることなく、何でも懇切丁寧に教えて下さった。

微笑ましいエピソードだが、私が若い時、私大でバイトをしていて、先生の所に女子大生を連れて行った。そのうち一人が「『好きこそ

もの上手なれ』って、何で『なれ』って終わるんですか？」と尋ねたら、宮本教授は大喜びして、係結びを熱心に教え、私にしきりに「この子に目をかけてやりなさいよ」とおっしゃった。

その時の少女が、先日、サントリー学芸賞を受けた松田姫子さんである。

？「文藝春秋」追悼抄

赤村勲（ミステリ作家）

宮本先生まで、ついに逝かれてしまったんですね・・・三島由紀夫、寺山修司、中井英夫、塚本邦雄、先生はそういう系譜に連なる孤独に輝く遊星でした。

他の人は色々、言ったり、書いたりしていますがね、今だから言えますけど、先生はプロポーズにも二度、失敗していて、ただそういう暗いところを出すのは大嫌いでしたね。

あと東大の先生が大学のシステムが悪いとおっしゃってましたけど、あの先生はどんないいシステムがあっても組織というものとはあいられなかったんじゃないかな。システムの問題じゃないと思う。本質的に孤独を抱えていたんですよ。表面上は本当に感じのいい人でしたけどね。

でも、本当の作家ってそんなもんじゃないかと思うんですね。それで、お互い本当の孤独っていうパスポートを見せて、束の間、交流をする。私なんかは中井英夫の「虚無への供物」に魅せられて、幼稚なエピゴーネンだったけど、先生は目をかけて下さいました。

最近たまにお目にかかると思端作家たちの思い出をポツリポツリ

と話していました。

先生、私ももうすぐそっちに行きますからね・・・

？日本経済新聞・夕刊

成瀬龍虎（マンガ家）

宮本先生に一回だけお目にかかりました。今も連載している「バサラ太平記」を描くため、お話をうかがいに行っただけです。二年前です。偉い先生って、俺、知らなくて。しかも先生も偉ぶってなくて、アクションマンガの細かいところまで指摘してくれました。

印象的だったのは「さみしい」ってしきりに言ってたこと。普通、老人になったら、その辺り、あきらめるっしょ。でも何て言うか、欲とか希望を失っていないって俺は前向きに感じました。

色紙もいただきました。訳は分からなかったけど。そうね。何か凄みを感じた。

友人の塚本邦雄さんの辞世の歌なんだって。

「玩具函のハーモニカにも人生と呼ぶ二十四の獨房の窓」

（fin）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0166p/>

宮本教授

2011年9月9日15時46分発行